

令和4年度 議会報告会
実施報告書



湖西市議会

はじめに

湖西市議会では、湖西市議会基本条例を平成27年4月1日に施行しました。

この条例にうたう議会報告会は、議会活動に関する情報を直接市民に報告するとともに、議会活動に対する意見や要望を直接市民の皆様から聴取することで、積極的な意見交換を図り、市政に対する関心をより高めて頂くことを目的に開催しています。

本年度におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から令和3年度と同様に、対面方式による議会報告会は中止とし、オンラインによる意見交換会を開催いたしました。

参加者の皆様からは、意見交換会やアンケートによって多くのご意見を頂けましたことに厚く御礼申し上げます。

皆様から頂戴した貴重なご意見は、課題を整理し、今後の市議会の改善や政策提言など、（市民の皆様のご意向を）議会活動に反映してまいります。

目次

1	議会報告会（議員とのオンライン意見交換会）開催日等	1
2	意見交換内容	2
	<テーマ①> 少子化・人口減少対策について（子育てに関する事など）	2
	<テーマ②> 議員に質問したい事など	6
3	参加者アンケート（アンケートの意見を一部抜粋）	7
	(1) オンラインによる開催について	7
	(2) 今回の意見交換会に関してご意見	7

1 議会報告会（議員とのオンライン意見交換会）開催日等

開催日時	令和4年11月4日（金） 19時00分～20時30分
参加者数	7名（団体を限定せず、応募していただいた市民を対象に実施しました。）
テーマ	① 少子化・人口減少対策について（子育てに関することなど） ② 議員に質問したいことなど

意見交換会の様子

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、対面方式とはせず、オンライン（Zoom）により開催しました。



2 意見交換内容

<テーマ①> 少子化・人口減少対策について（子育てに関することなど）

参加者意見：湖西市には家を建てる土地がない

◇住むところ、家を建てる場所がなく、土地の問題がある。湖西市に家を建てたいという若い人は多いと思うので、そういった希望をかなえられるようなことができれば。

◇農地は多いが、宅地がなく、若い世代が引っ越したくても引っ越せない状態。

◇新興住宅地など、外に発信できるような状態になると他県や他市の人も気付いて人口増加につながるのでは。

◇衣・食・住が揃っていることが重要。「衣・食」については、インターネット注文すれば翌日には届く。しかし、住むところは造ってもらわないといけない状況である。

→議員の意見・考えなど

■住宅地の確保は重要であるという認識はある。土地の確保については、市街化区域内が完全に整備されていないということが問題。

参加者意見：農地転用が難しい

◇農地転用が難しいということに対して、どのように考えているか。

→議員の意見・考えなど

■農地転用には条件が色々あり、農地法によって制限がある。

■過去に実施した総合パイロット事業（農地を守る事業）も転用を難しくしている要因であると考える。

■以前とは農業を取り巻く環境が変わってきているので、何とかしてもらいたいというのも分かる。宅地開発をしていかないといけないということもあるが、宅地になった場合、固定資産税などが上がるなど、土地を所有している人にとっていいことばかりではない。

■農地の転用、土地の値段を安くすることは難しいが、魅力的で住みたいまちにすることはできる。

参加者意見：産後ケアのさらなる充実を

◇安心して産める環境整備が必要。核家族化が進んでいて身近に頼れる人がおらず、自分たちで子育てをしなければいけないという状況。父親は仕事の関係上、育児に積極的に参加できず、母親が一人で子育てをするという状況もある。

◇初めての出産での戸惑いや、産後特有のホルモンの影響でメンタルが落ちてしまうこともあり、そこで適切な支援が受けられず、からだを休めることができないと、産後うつという深刻な状況に陥ってしまうこともある。

◇産後のお母さんが安心して休める場、家事支援など家族に頼れない人に対する支援があったらいい。

◇産婦人科がないということでなかなか産後ケアが行き届かないということもある。全ての母親の産後に寄り添えるような、じっくり話を聞いてサポートできるような支援が金銭的な負担がなく、受けることができればいい。

◇宿泊型の産後ケアなど、産んだ後のサポートを充実させていくことで「湖西市に来たら安心して子どもが産めるな」というまちになればいいと思う。

⇒議員の意見・考えなど

■浜松市や豊橋市における日帰りのデイケアや宿泊のショートステイの利用に対する補助金は出しているが、そういった施設は湖西市にはないので、宿泊型で産婦をケアする施設について、一般質問において訴えかけたところ、市長も検討するということであった。

■今年度から湖西市でも「訪問型の産後ケア」が始まった。周知不足を訴え、9月の広報こさいで産後ケアの特集を組んでもらった。

<広報こさい>2022年9月15日号（特集：みんなで支えるこさいの子育て）

さらにもっと
今年度拡充
産後ケア

出産後のお母さんが産科医療機関などで心身のケアや授乳指導、育児相談などを受けられます。今年度からは、助産師が訪問し、ご自宅でもサービスを受けられるようになりました。詳しくはこちら▲

対 象 湖西市に住民票があり、心身の不調や育児不安などがある産後1年未満のお母さんと赤ちゃん ※医療行為が必要な人は利用できません。

内 容 出産後、お母さんと赤ちゃんの体調に合わせて、宿泊型、デイサービス型(1日・2時間程度)、訪問型から選択できます。合わせて7日まで利用でき、利用料金の一部を市が負担します。

利用申請 子ども家庭課に事前にご相談の上、申請してください。

⇒議員意見に対する参加者意見

◇期待はしているが時間をかけてしまうと、サービスの充実している市に流れてしまう状況が目に見えてある。

◇「今、助けて欲しい」というのが現状で、現場では今すぐに始めて欲しいというくらいのひっ迫感がある。

参加者意見：コミュニティ・スクール化の宣伝をもっとして欲しい

- ◇知波田小学校の児童数が減っており、統合の関係が心配で気になっている。
- ◇コミュニティ・スクール化が進んでいけば、少子化で子どもの人数が少なくても何とか生き残っていけるのでは。
- ◇コロナの影響で全然進んでいないのが現状。運動会等、地域の人を呼びたくても呼べない状況である。
- ◇コミュニティ・スクール化は、「地域みんなで学校の子どもたちを育てる」「地域と学校が一緒になって子ども達を育てる」といった取組み。
- ◇地域コーディネーターは地域と学校のパイプ役として配属されていて、ボランティアさんなどを探して学校に連れてきて、こどもたちとの触れ合いをしてもらおうということをやっているが、なかなか進まない状態。
- ◇なかなかこの学校も進んでいないという話を聞くのでどういう状況であるのか。

⇒議員の意見・考えなど

- 全国的な取組みであるが、湖西市についてはなかなか進んでいない。
- ボランティアを探すことが難しく、足りない。それぞれの地域に合わせたボランティアを探すようになる。湖西中学校区では、農業体験として収穫したもので職のありがたさを学ぶことや、浜名湖に近いので海の体験をするなどを行っているようである。
- 子どものときの体験により郷土愛が生まれ、大人になったときにふるさとに戻ってきて、「自分たちの経験を次世代につなげていきたい」と思う人が一人でも多く育っていただければいいなと思う。
- まだ始めたばかりなのですぐに成果は現れないと思うが、ボランティアを育成していくこともコーディネーターさんのお力だと思うので、これからも頑張りたい。

⇒議員意見に対する参加者意見

- ◇「地域コーディネーターがボランティアを探してきてください」と言われるが、「各学校がコミュニティ・スクール化を目指している」ということを知らない人があまりにも多く、探していただきと言われてもなかなかいない。
- ◇市をあげて「各学校ではコミュニティ・スクール化を目指しています。ボランティアを募集しています。学校の応援団になってください。」ということ进行宣传してもらえると助かる。

参加者意見：人が集まるイベント会場に来て市民の声を聴いて欲しい

◇「新居アンス」という、小学校3年生以下を対象に職業体験イベントを実施したが、イベントに来る議員が少なかった。

◇議員にも積極的にイベント等に顔を出してもらって市の現状をよく見て理解して欲しい。今の湖西市で何が行われているのかということ、色々なイベントに参加することによって知ることができる。

⇒議員の意見・考えなど

■市内でイベントがある際は、議員間での積極的な声かけや、連絡を密にしていきたい。

■市内のイベントには、出ているつもりではいたが、もっともっと参加しなければいけないということを感じた。

⇒議員意見に対する参加者意見

◇人が集まるイベントには家族も来るので、子どもや大人に声をかけていただき、困っていることや、悩みなどを聞いてもらえれば、その場で市民の意見を知ることができる。

◇湖西市全体だとたくさんイベントがあるので全部に出ることはできないと思うが、分散して参加するなど、一人でも多くの議員に来てもらい、色々な方と会話する場面を作っていただきたい。

参加者意見：空き家の活用・空き家問題の打開策は

◇湖西市はすごく住みやすくて良いところだと思う。子育て世代が湖西市の良さをもっと知ってもらえれば、湖西市に引っ越して来たい人も増えてくると思うが、住むところがなかなか見つからないというのが現実である。

◇宅地開発もいいが、空き家が増えているというのが現状。空き家をリフォームして格安で子育て世代に貸して住んでもらうというような対策を行えば、もっと子育て世代が引っ越してきたいと思えるようになるのでは。

◇空き家を利用して他の地域から人を呼ぶということはまだ企画されていないのか。

◇空き家問題の打開策についての考えは。

⇒議員の意見・考えなど

■「空き家バンク」という、空き家の紹介をする制度はあるが、件数は少ない。

■市内の商工業の振興や賑わいの創出を図るため、空き店舗等を利活用した事業に対する補助金の制度もある。

■空き家には数年前から危惧しており、一般質問でも取り上げた。

■実際に新居町の空き家対策を自治会長、商工会、不動産会社、銀行などと協力して2年半くらいのプロジェクトとして取り組んだ。

■自治会長が率先的に調査をし、何件かは空き家を埋めることができた。

■土地に建物が建っていると、土地の固定資産税が6分の1になるということが空き家の問題である。そのため、建物を残しておくという現象が生じる。法律で定められている固定資産税の制度を変えていかないといけないと思っている。

■空き家のはっきりとした定義がないことも問題である。崩れそうな空き家は特定空き家として、行政代執行の対象にもなる、そこまでに至らない空き家の対策をしなければならない。

■そこまでに至らない空き家を「準特定空き家」として空き家がもっと使える段階で市場にまわるような制度について時期を見て提案したいと思っている。

参加者意見（その他）

◇少子化について、市の人口が少ないというのが問題。周りからどう人を受け入れるかということに重点を置いたほうがいい。

◇湖西市から人を出さないということも大切。「新居アンス」という、小学校3年生以下を対象に職業体験イベントを実施した。働く楽しさを伝えて湖西市に残って湖西市を盛り上げるといふ子ども達が増えてくれれば外に出ていく人も少なくなる。

◇教育費をただにするから子どもが集まるなど、その場しのぎのバラマキ政策ではなく、湖西市の魅力で、お金を出さなくても来てくれるようなまちになるよう、みんなで頑張ることができればいいなと思う。

<テーマ②> 議員に質問したいことなど

参加者の質問：安心して子どもが育てられる環境は。

→議員の意見

■自身が考える安心して子どもが育てられる環境は次の3点。

- ① 安心して遊ばせることができる広場やレクリエーションなどの屋内活動ができる場所の整備
- ② 子どもを交通事故から守ることができる通学路やガードレールなどの環境整備
- ③ バリアフリーの環境整備

参加者の質問：市民の代表として、やりがいをととても感じることは

→議員の意見

■地元の方々からの切実な訴えを聞き、地域の人達と一緒に進めていくことができること。

■行政と市民の皆様との繋ぎ役。市民の皆様の声を一般質問や色々な機会に代弁をさせてもらうことや、市民からの質問に対し市のやっていることを説明し、行政と市民の皆様とのお互いの理解を深めることができたとき。

■多様な人と会って意見交流ができるということがやりがい。そこから湖西市にとって今必要なことは何かということを考えて、一般質問や質疑などでなるべく市民の声を集約して伝えようと思っている。それをやって何か解決したり少し前進したりするときにやっていてよかったなと感じる。

■産業政策についてはいくつか事業化できた。商工会の皆さんとプロジェクトを作ったり、行政の職員と一緒に取組んで、海外展開の事業支援事務局を作ったり、モノづくりの先輩たち「シニアのみなさん」の人財バンクをつくったりなど、自分が市民であった時にはできなかったことが、議員という立場になって、働く仲間の声を具体化して事業化していくということに対する達成感を感じている。

3 参加者アンケート（アンケートの意見を一部抜粋）

(1) オンラインによる開催について

◇子どもがいるので、夜は外に出ることはできないが、オンラインだったので参加できた。

◇自宅から参加できるのが良かった。

(2) 今回の意見交換会に関するご意見

◇同じ議員さんが、返答することが多かったので、他の議員さんの考えも聞きたかった。

◇参加者は、自己紹介しましたが、議員さんも、全員紹介してほしい。

◇私たち一般の市民が直接、湖西市に対して直接ご意見を言える機会を与えていただきまして感謝しております。あくまでも個人的な考えを述べただけですが少しでも議員が気になるような意見がありましたらそれを改善していただけたらありがたいです。

◇参加者の中で温度差や求めるモノが違うので、テーマに沿ったファシリテーターがいればなお良かったと思います。

◇それぞれの立場で少子化や人口減少への考えが違うのを感じました。視点がいくつかあって興味深かったです。また、私も含めてですが市民が行政で行っている事業やその背景など知らない事が多いと思いますので、もっと関心を持っていくという責任も市民にもあると思いました。ただ市民の声を届けるのは難しそうだし困難さも感じています。このような機会で見聞を言える機会があるのは良いことだと思います。

◇実際に転入してきて欲しい若い夫婦世代の声も聞いて欲しいです。夜は難しいし、オンラインもハードルが高いかもしれません。以前市長さんがママの集まりに来てくれていろいろ話を聞いて行ってきてくれました。そういう場にも市議の皆さんもどんどん出掛けてきて欲しいです。ただその場合には聞くメインでお願いしたいです。打ち解けて本音を話してくれるまでには時間がかかると思いますが、気軽に対話できる様な場があるととても良いなと思います。

◇議員の皆さんが普段どのような事をしているのか聞き私が思っていたよりもお仕事をされているのだと感じました。ありがとうございます。

◇また今後も定期的に開催して頂き、建設的な会議をしていきたいです。ご検討よろしくお願ひ致します。